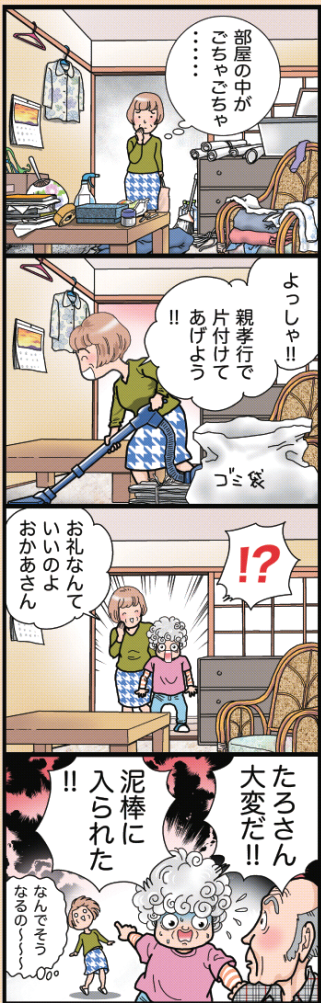


たろ♡はな物語

なんでそうなるの

絵:くさか 里樹



シナリオ・監修・永島 徹

親のために良かれと思ってきれいに掃除してあげたのに...泥棒に入られたなんて。なんでそうなるの?とがっかりしてしまうかもしれません。認知症だから仕方ないと思ってしまうかも...でも、このように考えてみて下さい。他者からはただ散らかっているように見える部屋も、ご本人にとってはとても安心できる居心地の良い場所であったりします。花子さん、きれいに片付けてしまった部屋を見て、突然なじみのものが消えてしまったことに混乱してしまいました。親孝行は何かしてあげることだけではなく、どうするかと安心できるかなど、相手の立場に立つて考えを巡らしてみることが大切です。まずは、花子さんが、普段どのように生活しているのかを、さりげなく見守り、なほを大切にしながら安心して暮らせる環境づくりを考えてみるのが大切です。



下野新聞
認知症カフェプロジェクト
過去の特集はこちら!

Vol.10 増える認知症 介護福祉関係者の取り組み

令和元年6月に取りまとめられた、「認知症施策推進大綱」において、「医療・介護従事者等の専門職は、認知症の人を、各々の価値観や個性、想い、人生の歴史等を持つ主体として尊重し、できないことではなくできることに目を向け、本人が有する力を最大限に活かしながら、地域社会の中で自分らしい暮らし方が継続できるよう、支援していくこと」が求められています。

企画制作/下野新聞社 営業局

下野新聞 認知症カフェ プロジェクト2021



その人らしく生きられる社会を願ってほしい種まきを続けています

生活支援課 課長 阿部裕一さん



介護を必要とする高齢者が増加し、介護職の人手不足や待遇改善などが取り沙汰される中、介護の現場で認知症ケアにあたる人は、どのような思いを抱いているのでしょうか。

認知症介護について教えてほしい、その願いに応えてくれたのは、済生会高齢者ケアセンター(宇都宮市徳次郎町)で高齢者ケアにあたる介護福祉士の阿部裕一さん。同センターには、短期入所施設併設の特別養護老人ホームやデイサービス、ケアハウス、グループホーム、居宅介護支援事業所などのケア施設のほかに、県の委託事業として県内の認知症介護従事者向けに実施している「認知症介護研修を行う施設」として、認知症介護研修センターが整備されている。阿部さんは、介護支援専門員、認知症介護指導者、オンライン・チューター、キャリア・メイト、栃木県認知症対策推進会議委員、つまり、阿部さんは認知症介護の現場で働く人たちの先生であり、医療や介護と連携して専門的な支援を行う認知症介護のエキスパート。施設では

ケアハウスとデイサービスを担当し、日々、認知症の人と真正面から全力で向き合っています。

「その人らしさ」が永遠のテーマ

4世代、8人の大家族の中で育った阿部さんには、「今思えば、あれが高齢者介護の道に進むきっかけになったのかな」と言う忘れられない記憶があります。小学校4年生だった当時、家長として家族を率いていた80歳の曾祖父が、突然「ここはここだ」「家に帰る」と言うようになり、そこから壮絶な日々が始まりました。「まだ認知症という言葉を知らなかった。その言葉は使われていない時代でしたが、尊敬していた曾祖父の変化は小学生だった私にとって衝撃的でした。介護に追われる祖父と両親の姿を目の当たりにしながら、「子どもながらも自分に何ができるのかと考えていました」と言う阿部さんは、高校卒業後の進路に介護福祉の専門学校を選

び、「お年寄りの介護は俺がやるしかない」との熱い思いがあったそうです。そして、2002年4月、現在勤務する高齢者ケアセンターの特別養護老人ホームで介護福祉士としてのキャリアをスタート。ここでの認知症の人との関わりも、阿部さんを現在の仕事へと導くターニングポイントとなりました。

「その人らしさ、自分らしさって何だろうと、何年も考え続けています。介護に必要な基礎的な知識は本を読めば分かります。でも、認知症の方それぞれの個性、その人らしさをじっくり見極められるようなケアアライになりたかった。一人一人の人生の背景を考慮した介護を提供しなければ、その人の尊厳を認めることにならないのではないかと考えたときに、もっと認知症について学びたいと思いました。特別養護老人ホームで支援していた認知症の高齢女性がお亡くなりになったとき、阿部さんが娘さんから聞いた言葉は、「母が認知症になったことはとても残念でした。でも、母は不幸ではなかったと思います。阿部さんが気づいたのは「認知症と診断された方にも、その人らしさ、その人ならではの世界がある」ということ。施設のルールを押しつけたり、仕事の効率を優先するのではなく、「その人を受容し、不安に寄り添い、正そうとしない」ことの大切さでした。

「認知症介護の基本は個別ケアです。『その人らしさ』というのは永遠のテーマ。学んでも学んでも限りがないけれど、目標があるえば、地域の中

から先が目指せます。お年寄りの素の笑顔が見たい、この思いは20年間変わっていません」

学校で中学3年生を対象とした認知症サポーター養成講座や、地域住民が垣根を越えて集まる「オシャベリナイト」の開催、昨年度からは耕作放棄地を利用し人と人が交流を深める「畑活」もスタートさせました。「いろんなところに種をまいておくと、自然に芽が出て育つていく。想定外のものが得られたりもします。誰もが高齢者になり、認知症になる可能性があります。地域に暮らす一人一人が『自分が認知症になったらどう生きたいか』を我が事として考えるようになれば、地域は変わっていきます。大切なのは人と人。果てしない種まきが、人と人とのつながりを取り戻すきっかけになることを願っています」



認知症介護実践リーダー研修の受講生と共に撮影

私たちは「下野新聞認知症カフェプロジェクト」を応援しています。

明治安田生命
宇都宮支社

JA全農とちぎ

NTT東日本

welcia
ウエルシア薬局株式会社

人も地球も健康に
Yakult
宇都宮ヤクルト販売株式会社

SOMPOひまわり生命
あなたが健康だと、だれかがうれしい。

企画協力

栃木県

一般社団法人
栃木県医師会

公益社団法人
認知症の人と家族の会

栃木県歯科医師会
Tochigiken-Dental Association

一般社団法人
栃木県薬剤師会

公益社団法人
栃木県看護協会

応援医療機関
応援介護老人福祉施設

宇都宮駅前比企クリニック 宇都宮第一病院 宇都宮リハビリテーション病院 皆藤病院 見籠堂医療福祉総合クリニック 見籠堂クリニックかわせみ 済生会宇都宮病院 長島医院 那須赤十字病院 那須南病院 沼尾病院 根本医院 橋本腎内科クリニック 村井クリニック 柳田医院 吉沢眼科医院 両毛病院 デイホーム風のさんぽ道 グループホームかわせみ ※五十音順(医療機関、介護老人福祉施設の順)

明治安田生命

MY WEBセミナー

認知症を知ろう!

誰もが「り患」する
可能性がある認知症を
医療面と経済面
二つの観点で
まとめ解説!

日本では2025年には65歳以上の約5人に1人が発症すると推計されている認知症について、医療面と経済面のプロがそれぞれわかりやすく解説します。

早くから
備えることの
大切さの

医療面の解説

認知症の症状と診断
認知症の治療と予防

東京医科大学
高齢総合医学分野 特任教授
医学博士 羽生 春夫 先生

経済面の解説

認知症に備えるお金
ファイナンシャルプランナー
山口 京子先生

パソコン・スマホで! 無料でご視聴いただけます
以下URLが二次元コードから特設サイトに入り視聴コードの入力で視聴できます!
<https://www.meijiyasuda-future.jp/movie/dementia/> 視聴コード 23200



明治安田生命保険相互会社 宇都宮支社
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り2-1-5
明治安田生命宇都宮大通りビル4階
TEL.028-634-6223 担当:山科
二〇〇〇三〇業務

明治安田生命グループ

介護総合情報サイト

MY介護の広場

「MY介護の広場」は、ますます身近な問題となりつつある高齢者の介護について
●介護を受ける方 ●介護を考えるご家族の方 ●介護について学びたい方
それぞれのお立場にあったさまざまな情報・ツールを提供しています。

検索

MY介護の広場

◎おすすめコンテンツ

◆認知症とは

認知症とは
認知について
分かりやすく解説しています

あなたは認知症についてどのくらい理解できていますか?
かんたんな4つのチェックを通して、
認知症を理解して詳しくなりましょう!

<https://www.my-kaigo.com/pub/individual/brousl/ca12/>

◆よくわかる フレイル・サルコペニア予防シリーズ

よくわかる フレイル・サルコペニア予防
シリーズ

「フレイル」など、予防方法中心に高齢者の病気や健康管理に詳しい専門家による、貴重なアドバイスが満載です。

<https://www.mykaigo.com/pub/individual/byauki/furditud>

大人の「塗り絵」教室など、高齢者向けのレクリエーションコンテンツも充実しております。ぜひアクセスください!

「MY介護の広場」は、明治安田生命グループの
明治安田システム・テクノロジー株式会社が運営しています。